

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社NEXYZ.Group 上場取引所 東
コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	21,669	8.4	1,218	13.3	899	△13.9	657	160.3
2025年9月期第3四半期	19,984	19.5	1,075	179.5	1,044	187.3	252	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 △1,008百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 2,013百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	50.56	—
2025年9月期第3四半期	19.42	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期第3四半期	22,593	7,333	15.1	261.50
2025年9月期	24,387	8,028	17.8	332.81

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 3,401百万円 2025年9月期 4,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期(予想)				30.00	30.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
2. 2025年9月期 期末配当金予想の内訳 普通配当 20円00銭 上場20周年記念配当金 10円00銭
3. 配当予想の修正については、本日(2026年8月14日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	33,000	16.1	2,200	20.8	1,900	9.0	950	2.9

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 連結業績予想の修正については、本日(2026年8月14日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年9月期3Q	13,471,240株	2025年9月期	13,471,240株
2026年9月期3Q	463,407株	2025年9月期	463,057株
2026年9月期3Q	13,007,919株	2025年9月期3Q	13,008,873株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、物価上昇の継続により先行きは依然として不透明であるものの、全体としては緩やかな景気回復傾向にありました。

GDP伸び率は、2026年1月～3月に前年同月比0.5%となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比1.4%～3.0%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、今後も成長が見込まれる「ネクシーズZERO」、「アクセルジャパン」の拡大に特に注力しております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社の強みである全国規模で展開できる提案型の営業力を活用し、それぞれ受注の増加に注力しております。

これらの結果、売上高21,669百万円(前年同四半期比8.4%増)、営業利益1,218百万円(前年同四半期比13.3%増)、経常利益899百万円(前年同四半期比13.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は657百万円(前年同四半期比160.3%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供や、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、金融機関からの紹介案件を中心に営業を行っております。豊富な商材ラインナップや様々な施工実績の蓄積により、着実に受注を積み増しており、受注が好調に推移しております。また、次期以降の売上となるキュービクル式高圧受電設備などの比較的工期が長く、規模の大きい案件も積極的に受注しております。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高17,913百万円(前年同四半期比10.6%増)、セグメント利益1,118百万円(前年同四半期比8.1%増)となりました。

[メディア・プロモーション事業]

メディア・プロモーション事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、新規売上の拡大に向けた重点施策である金融機関パートナーとの連携強化が順調に進んでおり、新規売上の増加に徐々に貢献し始めております。そのほか、電子雑誌やECサポート等各種ソリューション業務においては、ECサポート売上は堅調に推移し、電子雑誌売上は第4四半期連結会計期間に偏重する地方自治体とのタイアップ広告の季節要因によって減少した一方、集客の効率化が図られたことで、増益となりました。

これらの結果、メディア・プロモーション事業は、売上高3,696百万円(前年同四半期比2.6%減)、セグメント利益823百万円(前年同四半期比10.5%増)となりました。

[その他事業]

その他事業では、新たに法人向けグループウェアサービスの提供等を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、同サービスの新規顧客の契約が増加しております。

これらの結果、その他事業は、売上高97百万円(前年同四半期比431.5%増)、セグメント利益0百万円(前年同四半期比91.4%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は22,593百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,794百万円の減少となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は17,734百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,819百万円の増加となりました。これは主に、リース債権が783百万円減少した一方で、現金及び預金が2,052百万円、受取手形及び売掛金が595百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は4,859百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,614百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が3,613百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は11,431百万円となり、前連結会計年度末に比べて369百万円の増加となりました。これは主に、賞与引当金が260百万円減少した一方で、流動負債のその他が617百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は3,828百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,468百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が570百万円、固定負債のその他が898百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は7,333百万円となり、前連結会計年度末に比べて694百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が267百万円、非支配株主持分が232百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1,370百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載のとおり、2025年11月14日公表の「2025年9月期 決算短信」で公表した通期予想から変更いたしました。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業においては、業務用のLED照明、冷蔵庫、空調を中心として様々な設備を取り扱っております。商業、農業、工業の各種顧客のニーズに応じて商品の充実を図っております。また、地方銀行や信用金庫との業務提携を促進させて、提携金融機関経由の受注基盤を強化しております。営業人員は引き続き増員しているほか、高単価商材の受注や国や地方公共団体の公共工事への入札も強化しております。

同事業では2025年9月30日付で、和歌山で長年の電気工事実績を持つ第一電機設備工業株式会社の株式を取得して完全子会社化しております。これにより、有資格者を増やし、電気工事分野の専門性も強化しております。引き続き当社にないノウハウや技術、顧客層を持つ企業のM&Aや業務提携も随時検討して事業領域を広げております。

[メディア・プロモーション事業]

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、引き続き新規契約、更新契約を増やし、大幅な売上高増を目指しております。電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において、インバウンド対策の強化やニーズにあわせた新商材を柔軟に追加する多商材化戦略により、広告売上の更なる増加を目指しております。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の国内外での事業領域の拡大を図っております。

[その他事業]

その他事業につきましては、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応のみ行っており、影響は軽微と見込んでおります。

上記各事業の前提に基づき、主要事業であるエンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業がそれぞれ引き続き伸長することで、増収増益を見込んでおります。

2026年9月期通期連結業績見通し（2025年10月1日～2026年9月30日）

売上高 33,000百万円
営業利益 2,200百万円
経常利益 1,900百万円
親会社株主に帰属する当期純利益 950百万円

なお、配当予想につきましても、本日付で「業績予想および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を公表しております。2026年9月期の1株当たり期末配当金は、前回発表予想の普通配当20円から10円を増配して、30円となる予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,447	10,500
受取手形及び売掛金	2,890	3,485
リース債権	3,436	2,652
商品及び製品	486	763
未収入金	556	382
その他	1,107	1,131
貸倒引当金	△1,010	△1,183
流動資産合計	15,914	17,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	917	911
工具、器具及び備品（純額）	103	111
土地	53	53
その他（純額）	4	25
有形固定資産合計	1,080	1,101
無形固定資産		
ソフトウェア	121	125
その他	0	0
無形固定資産合計	121	125
投資その他の資産		
投資有価証券	5,832	2,218
繰延税金資産	164	129
その他	1,567	2,077
貸倒引当金	△291	△792
投資その他の資産合計	7,272	3,632
固定資産合計	8,473	4,859
資産合計	24,387	22,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,446	2,263
短期借入金	1,100	1,100
1年内返済予定の長期借入金	1,812	1,844
未払金	665	700
未払法人税等	476	645
解約調整引当金	2,977	2,936
賞与引当金	415	155
その他	1,168	1,785
流動負債合計	11,062	11,431
固定負債		
長期借入金	3,907	3,337
その他	1,389	491
固定負債合計	5,297	3,828
負債合計	16,359	15,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,001	1,176
利益剰余金	2,170	2,437
自己株式	△900	△900
株主資本合計	2,371	2,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,955	584
為替換算調整勘定	2	3
その他の包括利益累計額合計	1,958	587
非支配株主持分	3,699	3,931
純資産合計	8,028	7,333
負債純資産合計	24,387	22,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	19,984	21,669
売上原価	10,130	11,440
売上総利益	9,853	10,228
販売費及び一般管理費	8,778	9,010
営業利益	1,075	1,218
営業外収益		
受取利息	2	8
受取給付金	5	—
その他	14	21
営業外収益合計	22	29
営業外費用		
支払利息	40	58
持分法による投資損失	—	202
投資事業組合運用損	2	7
支払手数料	0	0
寄付金	7	41
その他	1	37
営業外費用合計	53	348
経常利益	1,044	899
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,015
特別利益合計	—	2,015
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	1,038	2,914
法人税、住民税及び事業税	226	964
法人税等調整額	299	299
法人税等合計	525	1,263
四半期純利益	512	1,651
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	993
親会社株主に帰属する四半期純利益	252	657

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	512	1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,498	△2,661
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益合計	1,500	△2,659
四半期包括利益	2,013	△1,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,083	△712
非支配株主に係る四半期包括利益	929	△296

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	90百万円	110百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッド・ファイ ナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,178	3,786	19,965	18	19,984	—	19,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	6	20	—	20	△20	—
計	16,192	3,793	19,985	18	20,004	△20	19,984
セグメント利益	1,034	744	1,779	7	1,786	△711	1,075

(注) 1. セグメント利益の調整額△711百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッド・ファイ ナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,900	3,677	21,577	91	21,669	—	21,669
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	19	32	5	37	△37	—
計	17,913	3,696	21,609	97	21,706	△37	21,669
セグメント利益	1,118	823	1,941	0	1,942	△724	1,218

(注) 1. セグメント利益の調整額△724百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。